

叙勲の慶び

(平成二十六年秋、平成二十七年春)

◆旭日双光章

「農業共済事業と ともに」

元山形県農業共済組合連合会長 渡会 裕之

平成二十六年秋の叙勲にさいし図らずも旭日双光章の栄に浴し身に余る光栄で恐縮に存じてる次第であります。

これは平成三年、旧庄内農業共済組合の理事に就任以来、二十三年間農業共済事業に携って来た事を評価頂いたものと有難く頂戴致した次第であります。二十三年間には色々な被害に見舞われましたが、最も甚大な被害として強烈に思い出されるのが平成十六年百年に一度と云われた秋の潮風害あります。特に庄内北部の遊佐、酒田の一部の稲は全く稔らず梨は翌年咲くべき花が満開と正に未曾有の被害で従業員一丸で早期共済金の支払に頑張って頂いた事であります。農業は自然災害との闘いでありそのセーフネットとして農業共済事業は欠かす事の出来ない制度であります。校歌にある様に国の大本農の業とある様に農業減価で地域国が栄える筈がないとの信念のもと今後も共済組合のサポーターであり続けたいと考えております。

◆旭日小綬章

壁に突き当たる 人生の中で

社会福祉法人 光風会 理事長 阿部興士男

戦後間もない昭和二十六年、カーキ色の服と肩掛けカバンで庄農の門を潜った、時が経つにつれ農業クラブの研究に熱を入れ、当時の村山知事より賞状を頂いたが自分の生き方を変えた。家は貧しく大学に進めない、卒業後は農業の傍ら馬車引きを続け、その間青年運動に徹したが、山木天皇と言われる農業組合長から無理やり勤めさせられる。少し政治に心がかり、昭和六十年に農協を止め酒田市議会にのめり込み、六期の間走りまわり、最上川に橋を架けると大風呂敷を広げ、酒田市立病院と県立日本海病院の統合へ、酒田地区高校再編に突っ込み副知事を激論し、大詰めは市町村合併に奔走し全身創痍の火だるまの中、一市三町として一応整って今日を迎えた。引退後少しゆっくりしようと思いがけたが、社会福祉法人の経営を担う事で連日押し掛けられ、遂に引き受け現在に至りました。乱暴な生き方でしたが、思いがけなく昨年春の叙勲の栄に浴し、身の丈ではありま

せんが、受章に恥じない生き方と些かなりとも次の世代に繋ぎたく心がけ、母校の師恩に感謝し厳しい環境の中に活路を見出し、限らないご発展と会員皆様のご隆盛をご祈念申し上げます。

生徒の輝き

あなたが選ぶ日本一おいしい 米コンテストに参加して

生物生産科一年 阿蘇 理子

私は、十二月下旬に庄内町で行われた「第九回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」に参加してきました。プロの農家の方々がたくさんいて驚きました。

私達が出品したのは「つや姫」という品種の米です。ミネラルを多く含んだカキ殻肥料を使い、とても美味しく出来上がりました。しかし、結果は優秀金賞でした。一年間頑張って育ててきただけに悔しかったです。来年は最優秀金賞をとりたいです。

私は初めてこのコンテストに参加しましたが、全国のような品種のお米を食べ比べたり、インタビューを受けたりして、とても良い体験が出来ました。農家の方達的情熱を直に感じる事が出来たのでよかったです。

意見発表

「東北大会に出場して」

山形県立庄内農業高等学校
生物生産科三年 今野 聡



今年の山形農業クラブ連盟意見発表会「食料生産部門」にて最優秀賞を頂くことができた大変嬉しく思います。私は滑舌が悪く上に人の前で話す事が苦手、このような競技は苦手でした。昨年は県大会に出場し優秀賞を受賞しました。しかし先生の言われたことを期限まで実現できていなかったため満足が行く内容にはなりません。今年度は校内予選原稿作りより上位大会を目指し練習に取り組み校内予選、県大会で最優秀賞を受賞でき多くの方々に感謝しています。

今年、この結果を頂くまで長い道のりでした。私は発表でも「大きくなったら農家する!」と発表しましたが、最初は漠然としたものでどのような農業がしたいのかは考えたことがありませんでした。そんな私を指導

してくださった先生にはたくさん助けて頂きました。毎日原稿作り、練習を続け発表力をつけました。練習を重ねていくうちに自分がしたいことが明確になりました。地元農協、地域の農家に伺い知識が不足しているところは教えて頂きました。その結果、以前よりも発表に自信がつき堂々と話せるようになりました。その後は今までの課題だった発表力を上げるため感情、強弱をつけて相手に伝わるように練習しました。毎日、夜まで練習し夏休みも意見発表に力を注ぎました。本番では少し不安な気持ちもありましたが、いつも通り発表することができました。山形県大会はレベルが高くと聞き自分でも最優秀が取れるか不安でしたが発表している時は自信を持って楽しく発表できました。課題もそこで見つけることができました。今年度の東北大会では優秀賞を頂くことができました。私の意見をたくさんの方々に聞いてもらうことができこの一年自分にとって大きく変わった年になることができたとおもいます。就農を目指す者として、地域農業の後継者として農業で生きていくという決心をつけることができました。たくさんの方に支えて頂きました。本当にありがとうございました。

平成26年度庄内農業高等学校瑞穂同窓会事業報告 (平成27年6月29日)

月 日	事業内容	備 考	月 日	事業内容	備 考
6月23日	瑞穂同窓会三役会	総会準備	4月～3月	各支部総会	3支部 藤島・八幡・上郷
7月7日	瑞穂同窓会理事・評議員会	総会に提案の議事を審議			
7月7日	瑞穂同窓会総会	平成25年度事業・決算報告 平成26年度事業・予算等審議	3月1日	会報の発行	第58号 11,000部発行 (全面カラーA4版)

【平成26年度 退職者・転出者記念品贈呈】

柴崎 浩 (4) 阿部 容子 (8) 奥山 祐子 (8) 工藤 良仁 (3) 高橋 勉 (42) 畑山 智洋 (1) 岡本ひろみ (8)
石川 敦子 (19) 本間 恵理 (5) 齋藤 みゑ (1)

平成26年度庄内農業高等学校瑞穂同窓会経常費収支決算書 (平成27年6月29日)

【収入の部】					【支出の部】				
〔単位：円〕					〔単位：円〕				
項 目	予算額	決算額	増 減	備 考	項 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1. 卒業生入会金	344,000	344,000	0	86名×4,000円	I 運 営 費	670,000	669,365	△ 635	
2. 終 身 会 費	774,000	774,000	0	86名×9,000円	1) 事 務 費	40,000	29,071	△ 10,929	はがき、切手代
3. 特別会費	0	0	0		2) 会 議 費	80,000	88,524	8,524	総会
4. 学校教育協力金	430,000	430,000	0	86名×5,000円	3) 旅 費	50,000	51,770	1,770	総会・三役会
5. 繰越金	744,636	744,636	0		4) 基本金積立金	500,000	500,000	0	
6. 繰入金	0	0	0		II 事 業 費	1,050,000	723,400	△326,600	
7. 基本金利子	2,000	1,744	△256	預金利子	1) 会 報 発 行	450,000	389,790	△ 60,210	印刷代・発送代
8. 雑収入	364	24,753	24,389	利子・生徒活性化事業	2) 記 念 品 費	150,000	91,610	△ 58,390	受章者・永年勤続
合 計	2,295,000	2,319,133	24,133		3) 慶 弔 費	100,000	57,000	△ 43,000	退職・転出者餞別
					4) 支部活動助成金	200,000	30,000	△170,000	藤島・八幡・上郷
					5) 奨 励 費	150,000	155,000	5,000	農ク・ウエイト・将棋
					III 学校教育協力金	430,000	430,000	0	
					IV 雑 費	40,000	0	△ 40,000	
					V 予 備 費	105,000	0	△105,000	
					合 計	2,295,000	1,822,765	△472,235	

収入2,319,133円－支出1,822,765円＝差引残額496,368円 (次年度へ繰り越し)
上記の通り決算報告する。
平成27年6月29日 庄内農業高等学校瑞穂同窓会会長 齋藤 隆 印

平成27年度 庄内農業高等学校瑞穂同窓会事業計画 (平成27年6月29日)

1. 会報の発行
- 第59号を8頁にして3月に発行する。
2. 感謝状の贈呈
- 同窓会役員への感謝状の贈呈。
3. 記念品の贈呈
- 永年勤続者並びに本年度内に転勤または退職なされた職員に対し記念品を贈る。
4. 奨励活動
- 在校生のクラブ活動の振興を援助し、または卒業生で名声を博した者へ奨励金を贈り後援する。
5. 弔慰
- 役員に不幸があったとき香典を贈る。会員に不幸があって支部より報告があったとき会報に記載し弔慰を表す。
6. 支部活動の援助
- 各支部における総会並びに事業に対し1支部20,000円を助成する。
7. 学校施設の充実
- 県内農業高校同窓会と連携をとりながら、施設設備の充実を図る。
8. その他
-

平成27年度 庄内農業高等学校瑞穂同窓会予算 (平成27年6月29日)

【収入の部】					【支出の部】				
〔単位：円〕					〔単位：円〕				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 卒業生入会金	336,000	344,000	△ 8,000	84名×4,000円	I 運 営 費	570,000	670,000	△100,000	
2. 終 身 会 費	756,000	774,000	△ 18,000	84名×9,000円	1) 事 務 費	40,000	40,000	0	はがき、切手代
3. 学校教育協力金	420,000	430,000	△ 10,000	84名×5,000円	2) 会 議 費	80,000	80,000	0	総会
4. 繰 越 金	496,368	744,636	△248,268		3) 旅 費	50,000	50,000	0	総会、三役会
5. 繰 入 金	0	0	0		4) 基本金積立金	400,000	500,000	△100,000	
6. 基本金利子	2,000	2,000	0		II 事 業 費	970,000	1,050,000	△ 80,000	
7. 雑 収 入	632	364	268	預金利子 他	1) 会 報 発 行	420,000	450,000	△ 30,000	印刷代、発送代
合 計	2,011,000	2,295,000	△284,000		2) 記 念 品 費	100,000	150,000	△ 50,000	受章者・永年勤続
					3) 慶 弔 費	100,000	100,000	0	
					4) 支部活動助成金	200,000	200,000	0	
					5) 奨 励 費	150,000	150,000	0	農ク・インターハイ
					III 学校教育協力金	420,000	430,000	△ 10,000	
					IV 雑 費	10,000	40,000	△ 30,000	
					V 予 備 費	41,000	105,000	△ 64,000	
					合 計	2,011,000	2,295,000	△284,000	

*平成26年度 瑞穂同窓会基本金積立金決算額
(平成27年3月31日現在)

前年度基本金積立合計金額・・・・・・8,750,000円
平成25年度基本金積立・・・・・・500,000円
〔基本金積立合計金額・・・・・・9,250,000円〕



第59号の編集にあたり、会員の方々よりご投稿を頂きまして、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。学校の近況については、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。校内事務局員のみなさんのご協力で会報の編集作成をやってきました。不十分なところもあるかと思いますので、忌憚のないご教示を賜れば幸いです。
笹原 俊明 (第76回卒)